



瓊浦高等学校  
学校通信  
第43号

平成28年3月24日発行  
電話 095-826-1261  
FAX 095-820-5245

瓊浦窓の

「前向きに」

教頭 岡島 正己

先日テレビで新津春子さんの特集がありました。新津さんは羽田空港で働く清掃のプロです。新津さんは日本人残留孤児2世で17歳の時に日本に移住し、高校に通いながら、家計を助けるために清掃のアルバイトをはじめたそうです。当時日本語が不自由で、仕事はこれしかなかったそうです。日本人残留孤児の父と中国人の母の間に生まれた新津さんが、苦境を乗り越え日本一のプロになる思いを「清掃業は中国でも日本でもまだまだ地位が低い。でも私は職人の仕事だと思っています。ただ清掃するだけじゃない。心を込めて清掃すれば感謝してくれる人がいるのです。」と、語ってくださいました。逆境に負けず前向きに生きる姿は多くの人に感動を与えてくれます。

最近、ネガティブな言葉をポジティブな言葉に変換できるアプリがあるそうです。例えば「後悔 次のステップの足がかり。飽きっぽい 気持ちのきり替えが早い。いい加減 おおらか等。」このように発想の転換をし、ものごとを前向きに捉えることのできる人間になりたいものです。世の中には自分の思うようにならないことや嫌なことが数多くあります。そのたびに、腹を立てたり落ちこんでばかりいても前へは進めないものです。「まず動き、汗をかき、泥まみれになり」一生懸命頑張ることから始めれば、目標に向かうことができると思います。

4月には296名の新入生が大きな希望と少しの不安をもち入学してきます。新2年生は中核学年としての自覚をもち新入生に本校の良き伝統と良き学校生活について教えてください。そして、新3年生は瓊浦生のリーダーとして活気ある、輝きのある学校創りの旗手として邁進してください。

平成28年度は、保護者の皆様と協力し、お子様が大きな果実を实らせる1年にしたいと思います。



## 卒業式

第67回卒業証書授与式が、3月1日（火）本校総合体育館において挙行されました。普通科101名、情報ビジネス科41名、機械科128名、計270名が卒業証書を受け取りました。

龍馬コース普通科A組の城岩秀幸君は答辞で、充実した3年間を振り返り、特に部活動では「壁にぶつかってもそれを乗り越える強さ、そして、自分自身をあきらめないという強い気持ちを身につけることができました。」と述べました。そして、これまで支えてくれた両親への感謝の言葉とともに、夢実現のために努力していくことを誓いました。

最後に高校生活を締めくくる校歌を歌い、卒業生は晴れやかな顔で巣立っていきました。卒業後は、それぞれが選んだ道で大いに活躍してくれることを期待しています。

当日はたくさんの保護者の皆様にご列席いただき、ありがとうございました。



これまでの多くのご支援・ご協力に対し、心より感謝申し上げます。今後とも瓊浦ファミリーの一員として、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



## 《主な行事》 4月

- 8日（金） 始業式・容儀指導（2・3年）  
新任式・受納式  
入学式・対面式  
PTA入会式
- 11日（月） オリエンテーション（1年）  
交通講話
- 12日（火） 勤労体験学習（3年）  
宿泊研修（1年）（～14日）

- 15日（金） 身体測定  
避難訓練
- 18日（月） 第1回実力考査  
各種委員任命式（2・3年）  
部活動紹介
- 19日（火） 面談週間（～25日）
- 22日（金） 歓迎遠足（唐八景）
- 26日（火） X線
- 27日（水） 内科検診  
心電図検査（～28日）



## 強歩大会

恒例の強歩大会が、3月4日(金)例年になく暖かい陽気のなか行われました。女子は本校から女神大橋までを往復する20キロ、男子はさらに神ノ島までまわる30キロの長い道のりを、仲間と励まし合いながら、歩みを進めました。

最初から走ったり、友達との会話を楽しみながら歩いたり、班ごとにそれぞれのペースで前進し、ほとんどの生徒が完歩を果たしました。

大きな達成感を得ると同時に、精神的にも成長することができたのではないかと思います。ゴール後は、PTAによるあたたかいうどんをいただき、疲れを癒しました。

うどんの炊き出しにご参加の皆様、お忙しいなか学校行事にご協力いただき、本当にありがとうございました。



### 総合成績

男子30kmの部	第1位	龍普2B
	第2位	龍普2A
	第3位	普2C
女子20kmの部	第1位	情1A
	第2位	龍普2B
	第3位	龍普1B
最速賞	男子	普2C

## JAXAによる連携授業

3月15日(火)の3・4時間目に、JAXAから竹前俊昭先生をお迎えして連携授業が開催され、龍馬コースの1年生64名と普通科2年A組の20名が参加しました。前半は、一年間を通して取り組んできた成果として、龍普1Aの生徒たちが、ペットボトルロケットの製作と実験結果、龍普2Aの生徒たちが、缶サットと呼ばれる小型模擬人工衛星の製作に関する発表をおこない、竹前先生から改良点についてアドバイスをいただきました。

後半は、竹前先生に「宇宙を知る・地球を知る・故郷を知る」という題目で講義をしていただきました。人工衛星はやぶさ等多くの輝かしい成功の影には失敗もあること、その失敗をきちんと検証し成功につなげたという内容で、生徒たちはあきらめず努力を継続することの大切さを学びました。



## 凧揚げ大会

終業式を目前にした3月17日(木)、グラウンドにて凧揚げ大会が実施されました。短い製作時間ながらも工夫を凝らし、赤と青の和紙で模様や文字を表したのものや、絵を描いてカラフルに色を塗ったものなど、さまざまなデザインの凧がそろいました。当日は快晴で風が弱かったため、凧揚げ初心者にとって高く揚げるのはなかなか難しかったようですが、各クラス一年間をともに過ごした仲間と協力して、滞空時間を競い合いました。



### 総合成績

第1位	龍普2A
第2位	機2D
第3位	普1D



## 九州陶磁器の歴史・文化 についての研修

機械科1年生は3月8日(火)、研修のため福岡市美術館、石橋美術館(久留米市)および九州陶磁文化館(有田町)を訪れました。九州陶磁器の過去から現代までの作品鑑賞を通して、その特徴や芸術性を学び、亀山焼の理解に役立てることを目的としておこなわれたものです。機械科では3年生になると、町田先生のご指導のもと、亀山焼に取り組みます。今回の貴重な経験を、自らの作品製作に生かしてほしいと思います。



## 美術鑑賞

美術を学んでいるクラスは3月16日(水)、長崎県美術館にて「くまのプーさん展」を鑑賞しました。ディズニーでアニメーション映画が製作され、キャラクターとしても有名な作品ということで親しみやすいテーマであり、小さい頃に見た懐かしい絵に出会った生徒もいました。常設のコレクション展では、スペインの巨匠ピカソやダリ、ミロなどの作品を鑑賞し、本物の迫力を感じとることができたようです。また今回は、美術館のバックヤードも見学させていただきました。大きな業務用エレベーターに乗ったり、地震対策の施された揺れない収蔵庫の説明を聞いたりし、生徒たちは普段は立ち入ることができない美術館の裏側に、とても関心をもった様子でした。



## 進学・就職指導部より

新3年生はいよいよ進路を決定する年となりました。目標達成のためには、早めの準備が大切です。この春休みを利用してご家庭でよく話し合っただけだと思います。6月から始まる三者面談までには、具体的な進路が決定できるよう取り組んでください。

新2年生も、目標を立てるのに早すぎることはありません。将来のために「今何をやるべきか」を考えて行動してほしいと思います。

進学・就職指導部は、生徒の皆さんの夢実現にむけてをお手伝いします。どうぞ気軽に相談に来てください。

